

入間市議会議員 2期目 活動レポート (令和-14)

無所属
無党派

世界初！女性から男性のトランスジェンダー議員

細田ともや

違いを認め合い 互いを尊重しあえる
“入間市”を目指すために！

～プロフィール～

- 平成3年 女性として生まれる。元加治幼稚園卒園、入間市立野田中学校卒業、埼玉平成高等学校卒業
- 帝京大学医療技術学部臨床検査学科卒業。大学在学中に、女性→男性に戸籍変更
- 臨床検査技師として病院勤務。2017年入間市議会議員選挙 最年少25歳 初当選
- 女性から男性へのトランスジェンダーの地方議員として **世界初** となった
- 2021年入間市議会議員選挙 現職最年少29歳2期目当選**
- 人権課題に取り組む他、毎議会 教育・福祉等の一般質問を行なっている
- 2020年6月 英国の非営利団体「One Young World」主催、**世界各地より「地域社会の若者に好影響を与える」年間最優秀政治家** 15人の中に選ばれた
- 所属：総務常任委員会・議会防災検討委員会・消防団・入間青年会議所

one
YOUNG
WORLD
POLITICIAN
OF THE YEAR 2020
SHORTLIST



入間市犯罪被害者等支援条例制定

犯罪等により被害を受けた方やその家族や遺族は、生命や身体への危害といった直接的な被害に加え、周囲の配慮のない言動やインターネット等の誹謗中傷等の「二次被害」や加害者からの「再被害」への恐怖や不安にさらされています。この為、犯罪被害者等への支援を総合的に推進し、被害の軽減や生活の再建を図ることにより、「誰もが安全で安心して暮らすことができる地域社会の実現」のため制定されました。

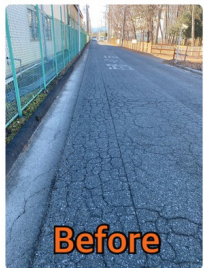
私も議会の一般質問で、数回に渡り条例制定を提案して参りました！



道路標識



実現！！



Before



After①

(電柱に取付けて頂きました)



Before

(標識が倒れてしまっていました)



After



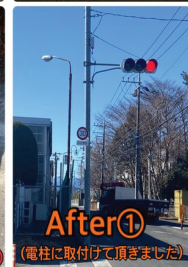
Before

(標識の根元が強化し、倒れかけていました)



After②

(穴も綺麗に埋めてあります)



After①

(電柱に取付けて頂きました)



After②

(穴も綺麗に埋めてあります)



2022年6月議会の一般質問で「男性用個室トイレへの汚物入れ設置」を提案させて頂きました。がんサバイバーだけでなく、加齢等や痔を患っておられる方等もパッドを利用しているが、**捨てる場所が無いという多くの声がありました**。その後、市役所をはじめとする公共施設へ設置されました。また、新光地区の道路の白線が消えてしまっていたり、標識が危ない状態になっておりました。子ども達の通学路にもなっており危険なので、担当課に伝え、直して頂きました。

組織機構の見直しについて

質問 1. 4月から組織機構の見直しをしたが、組織機構の見直しの目的と考え方は？

答弁 1. 基本的には5年毎に策定している「入間市総合計画 基本計画」に合わせ、組織機構の見直しを行っている。今回の組織機構の見直しも、「第6次入間市総合計画後期基本計画」の策定に合わせ、その実現に向けた組織体制とするため、見直しを行った。平成29年度の見直しにより生じた課題や、この5年間に於いて発生した新たな課題への対応を基本に、改めて業務最適化を目指して取り組んだ。

教育現場からみる子どもの権利条約について

質問 1. 子どもの権利条約についてどのように認識しているのか？

2. これまで子どもの権利条約に関して教職員向けの研修は行ったことがあるか？

3. 入間市の今後の方針はどのように考えているのか？

答弁 1. 全ての子どもが、心身ともに健康に、自分らしく育つための権利を定めていると認識している。また、学校教育においては、子どもの人権及び成長過程への配慮を十分に行い、一人一人を大切に教育を行わなければならないと認識している。

子どもの権利条約 4つの柱

2. 子どもの権利条約だけに特化した教職員向けの研修は行っていない。

しかし、市教育委員会が取り組んでいるすべての研修が、子どもの人権に十分配慮し、誰一人取り残さず、一人一人を大切にする教育実践のための研修となっている。

1 生きる権利



3 守られる権利



2 育つ権利



4 参加する権利



3. 「子どもの権利条約」の精神を活かした取組を続けていく。具体的には、「参加する権利」として生徒会が主体となって校則について見直す取組を行う等、子どもの権利を尊重した教育活動をより一層、重視して学校教育を展開していく。

©日本ユニセフ協会 イラスト：Hiromi Ushijima

自治会活動のデジタル化について

質問 1. 自治会等のデジタル化の取り組み状況は？

2. 電子回覧板を導入している自治体があるが電子回覧板に対する認識は？

3. 新型コロナウイルス感染症の収束が見えない中で、さまざまな事柄でデジタル化が進んできた。今後、自治会の電子回覧板をどのように進めていく考えなのか？

答弁 1. 電子回覧板を「導入している」自治会はないが、119自治会のうち3自治会がホームページを開設し、会員に地域の情報を提供している。

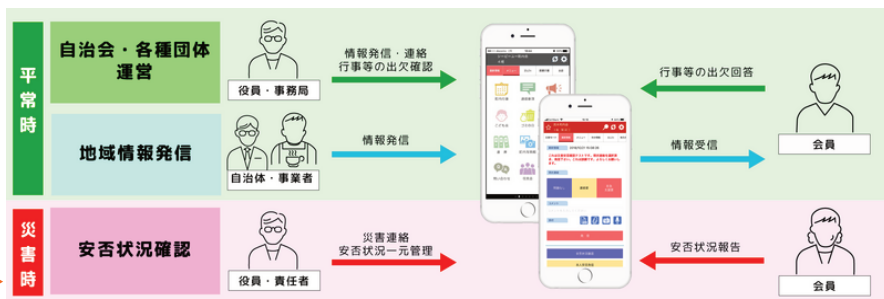
2. 地域の情報共有と発信、若い世代の自治会活動への参加を促進するため、地域コミュニティにおけるICT化を推進することを目的に、アプリを導入して運営の効率化を図る自治会や町内会を支援している自治体があると認識している。

3. 直接会って話をするだけでなく、電子回覧板やオンライン会議といったデジタルツールを活用し、交流していくことも、その手段のひとつであると認識している。

引き続き、デジタル社会を見据え、
連合区長会を通じて自治会向け
デジタルツールの情報を提供していく。

引用

「地域ICTプラットフォームアプリ 結ネット」



無所属の会発行

 <http://h-tomoya.com>

〒358-0055 入間市新光306-888

☎ 080-8739-3649

こちらのチラシはUDフォントを使用しています。



掲載・出演メディア

細田智也

検索

NYタイムズ・The Independent(イギリス)

NBCニュース

読売・朝日・毎日・産経・東京・埼玉各地方新聞等

AERA・Wikipedia等

NHK(おはよう日本・首都圏ネットワーク)

討議資料